

朝倉市青少年育成市民会議だより

資料 3



オアシス

第 34 号

令和6年

4.1

特集 「言葉の持つ力」

特集 言葉の持つ力

普段 皆さんが話している言葉は目に見えません
そんなこと誰でも知っているって？
そうですね
でも 書かれている言葉を目にすることは出来ます
見えない言葉と見える言葉
どちらの言葉も直接人の体に触れるわけでも無いのに
実は大きな力を持っているんです
誰かの言葉があなたに与える力 あなたの言葉が誰かに与える力
そんな力を持っていることに あなたは気が付いているでしょうか？
そしてその力はプラスとマイナスの2つの顔を持っていることに・・・
今回の特集は「言葉の持つ力」について 考えてみたいと思います

皆さんは、**喜怒哀楽**という言葉をご存知でしょうか？

喜…喜び



怒…怒り



哀…悲しみ



楽…楽しみ



人間にはさまざまな感情がありますが 言葉は この全ての感情に関わってきます
誰かがかけた言葉で あなたが喜んだり 怒ったり 悲しんだり 愉快的気持ちになったり
あなたがかけた言葉で 誰かが喜んだり 怒ったり 悲しんだり 愉快的気持ちになったり
つまり言葉は人の心に届き 傷ついた心を優しく包んで癒すことで
相手を元気にすることもあるし相手の心に突き刺さり傷つけて悲しませることもある
心に届いて 人の感情が左右されるなんて 凄い力だと思いませんか？



でも、実はこれだけではないんです

あなたが誰かにかけた言葉に相手が癒されている時 それを相手に届けたあなた自身も
自分の言葉から気が付かないうちに元気をもらっているんです
相手の気持ちが癒されるのと同じように あなたの心も癒されているんですよ
自分の言葉に自分が癒されるなんて 不思議ですね
相手に優しい言葉をかけた時 自分の心にも優しい気持ちが届いていませんか？
分からない時は ぜひ誰かに試してみてください
まるで言葉は魔法の力を持っているようですね



でも

だからこそ 言葉を大切に使わないといけないんです
だからこそ 言葉は注意して使わないといけないんです
あなたや誰かに元気をくれる言葉
あなたや誰かを傷つけてしまう言葉
そして あなた達の気持ちを癒してくれる言葉



逆に あなたの言葉が同じように誰かを助け 誰かを傷つけていたかもしれません
普段何気なく使っている言葉は そのまま流れて消えて行くようにも見えますが
実は人の心の中に留まってプラスやマイナスの影響を与えています
その力を再認識することで よりプラスの力を発揮できるように考えてみる機会に
してください
お互いが優しい気持ちにつつまれるような魔法の言葉が使えるように

第13回 青少年の集いinあさくら

令和5年12月10日(日)ピーポート甘木 大ホール
において「第13回青少年の集いinあさくら」を開催
しました。

第1部は市内の中学生が日ごろ感じていることを
発表する「少年の主張」、第2部は講師と中学生との
ディスカッションと講演会を行いました。

司会は朝倉東高等学校の学生2名による進行と
朝倉市手話の会の皆さんの協力で進められました。



司会

朝倉東高等学校

おおぐす ゆき な
大楠 友貴菜さん(右)
むた ちひろ
牟田 千尋さん(左)

【第1部】 少年の主張



十文字中学校 3年

から から かほる
唐川 薫さん

主張

「インターネットと
人権について」



甘木中学校 3年

やま うち れん か
山内 蓮榎さん

主張

「未来へつなぐバトン」



南陵中学校 3年

おぎ の ひゅうが
荻野 日向さん

主張

「誰もが幸せと思える
世界へ」



比良松中学校 3年

なか やま
仲山 ひなのさん

主張

「戦争を考える意味」



杷木中学校 3年

な す の あ
奈須 望空さん

主張

「良い未来のために」



秋月中学校 3年

もり た ゆき と
森田 敬仁さん

主張

「私たちが使う言葉」

【第2部】講師と中学生のディスカッション&講演会 「SDGs達成のために私たちができること」

第2部前半では講師(神田みゆきさん)と中学生とのディスカッションを行い、それぞれの発表の感想を述べました。後半の講演会では会場も一体となりSDGsについて考えました。



講師と中学生のディスカッション



講演会「SDGs達成のために私たちにできること」

参加者からの感想

- 第1部**
- ・身近な問題に自分の意見をきちんと伝え、未来へ繋げる姿がすばらしかった。
 - ・「戦争、人権、幸せ」色々な主張があり、中学生は中学生なりの考えがありました。
 - ・中学生が一生懸命自分の考えを発表し、人の考えに耳を傾けている姿に感動しました。
- 第2部**
- ・今の中学生が色々な事に意識をもっている事が分かった。世界の問題をわかりやすく教えてもらった。
 - ・急な課題にもすぐに答えを出すことができ「子ども達がすごい」と思いました。
 - ・SDGsをわかりやすく説明していただき良かったです。ありがとうございました。

ご存じですか「児童の権利に関する条約」

1989年の国際連合総会で採択され、我が国では1994年に発効した「児童の権利に関する条約」は、18歳未満のすべての子どもの権利や自由を尊重し、子どもに対する保護と援助を図り、その健やかな成長や幸せのためにつくられたものです。

子どもの権利を守りましょう。

【条約の主な内容】

- 子どもは教育を受けることや遊ぶことが認められるべきこと
- 子どもは自由に考え、信じることが認められるべきこと
- 家庭環境に恵まれない子どもに保護と援助が与えられるべきこと
- 子どもはあらゆる差別や暴力、虐待などの不当な扱いから守られるべきこと



地区協議会

Jyumonji / Nanryo / Akizuki / Amagi
Tateishi / Hiramatu / Haki

杷木地区 恩おくり隊

平成29年7月の九州北部豪雨により杷木地域は甚大な被害を受け、全国各地から多くの支援を頂きました。支援して頂いた方々への感謝の気持ちと杷木地域に役立ちたいという思いから杷木中学校では令和元年度に「恩おくり隊」というボランティア活動を始めました。コロナ感染症が5類に移行した今年、地域行事の再開に伴い「恩おくり隊」の活動も再開しました。



8月7日(月)には杷木志波コミュニティで小学生を対象とした「ピザづくり」が開催され、小学生の「ピザづくり」のお手伝いに多くの中学生が参加しました。これからも地域の方々が、中学生の姿を通して、少しでも笑顔に、そして元気になってもらえるよう、「恩おくり隊」の活動を続けていきます。



ピザの作り方は九州各地で活動されているミシュランシェフの中野さん(写真左)に教えていただきました

甘木地区 あまぎかがやき祭り

10月28日(土)、甘木町恒例の「あまぎかがやき祭り」が開催されました。

園児から小学生・中学生・高校生、大人達と沢山の人々が甘木地域センター横の甘木中央公園に集まりました。当日は晴天に恵まれ保育園児、中学生、高校生等の出しものや出店があり、楽しい1日を過ごす事ができました。きっとみんな元気をもらって家路についたことでしょう。毎年開催できる事に感謝し来年も甘木町全体で盛り上がっていきたいと思います。



このコーナーでは各地区協議会の取り組みや地域で活動する青少年について紹介していきます。

HOT LINE

南陵地区 幼保老ピクニック



10月31日(火)馬田地区にて「第27回幼保老ピクニック」が行われました。

甘木双葉幼稚園、馬田保育園の子ども達と馬田老松会の皆さんが、それぞれの園を出発し平塚川添遺跡公園を目指してピクニックに行きました。公園では、みんなでお遊戯やじゃんけん列車をした後、一緒にお弁当を食べました。

当日は汗ばむほどの陽気でしたが、子ども達は元気いっぱい、老松会の皆さんは「元気のおすそ分け」をたくさんもらったそうです。



出発の時は恥ずかしくて手をつなぐのもぎこちなかったのですが、園に戻って来てお別れする時には、子ども達と老松会の皆さんがお互いギュッとハグして、楽しい一日を思い出にしました。



甘木地区 甘木川河川敷ノーポイ活動

11月19日(日)、甘木町青少年健全育成協議会、毎年恒例の自分達の川を見直す一環として甘木川河川敷ノーポイ活動が行われました。甘木小学校のスポーツ少年団の子ども達を中心に保護者合わせて約50人が集まり1時間程度手に袋等を持ち、川のそばまでゴミが落ちていないか見まわりました。

地域の方々が毎日散歩をされながら河川敷を見てあるためゴミは少なかったのですが、中には大物も落ちていて子ども達もこれにはびっくりでした。「このポリ容器はまだ使えるよね」と言いながら拾っていました。

私たちの川がいつまでも美しいままであります様にと願いたいものです。



表紙イラストの結果発表

オアシス表紙イラストへの多数のご応募ありがとうございます。想定を上回るご応募を頂き、多くの方に「オアシス」への関心を持っていただいていることを大変嬉しく思います。審査の結果、応募作品の中から最優秀賞と敢闘賞を決定しました。

※賞は最優秀賞のみの予定でしたが、協議の結果敢闘賞を増枠しております。

※最優秀賞作品は本号表紙イラストとして掲載しております。
また、敢闘賞作品は本号内でイラストとして使用させていただいております。



最優秀賞

飯田 夏妃 さん
杷木中学校3年



敢闘賞

都合葉菜さん
杷木中学校2年



敢闘賞

南陵中学校
美術部

次号のテーマ「生命とは?~いただくいのち~」の 表紙イラスト募集します

応募の詳細は募集要項をご確認ください。たくさんの応募をお待ちしています。

募集要項

- ◆募集期間：令和6年4月1日(月)～令和6年7月1日(月)
- ◆応募資格：18歳以下
- ◆イラストの規格：八つ切の画用紙1枚程度、縦書き
- ◆応募方法：イラストの裏面にお名前(ペンネームでも可)と年齢、ご連絡先(メールアドレス、電話番号)を記入し申込まで持参もしくは郵送してください。
※郵送に要する費用については自己負担となります。

◆賞：最優秀作品はオアシス第35号の表紙として採用させていただきます。その他の副賞及び参加賞はございません。

◆審査について：応募作品は7月上旬頃にオアシス編集委員会で審査します。審査後、受賞者には掲載に関する確認のご連絡をさせていただきます。

※なお、ご提出いただいた作品は原則として返却しませんのでご了承ください。

問い合わせ・申込先

朝倉市青少年育成市民会議事務局

〒838-1592 福岡県朝倉市杷木池田483-1

TEL:0946-28-7595 FAX:0946-63-3569

E-mail: danjo@city.asakura.lg.jp

おすすめの一冊

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。

著 汐見 夏衛 出版 スターツ出版

生まれてはじめて私が愛した人は特攻隊長だった。
なんでこんなに苛々するんだろう？
小言ばかり言うてくる親も学校もすべてが…。
百合は中学2年生。母親とケンカをして家を飛び出し、目を覚ますと戦争中の日本だった。
通りかかった彰に助けられ「鶴屋食堂」ツルさんの店に住み込みで働きはじめる。
彰と過ごすうちに、彼のやさしさに惹かれていく。
しかし、特攻隊に志願した彰の気持ち、国のために命を懸けて戦うことを誇らしいと考える気持ちが、現代の百合には理解できない。
そんな中、彰にも出撃命令が…。
涙なしでは読めない一冊です。



編集後記

今回のテーマ言葉の持つ力について自分なりに考えましたが、奥が深いですね。
言葉にはメリット(大切さ) デメリット(怖さ) があります。
あいさつの一言で人を笑顔に出来ます。
逆に心無い一言で一生心に傷を残す事もあります。
落とした物は拾っても落とした言葉は拾えません。
みなさん言葉の大切さ、怖さを考えて発言する事が
心がけてはどうでしょうか？

穴あけが必要な場合は△を中心にお開けください。